

フリースタイルな 僧侶たちの フリーマガジン

2012/8・9

Vol.18

Japan

since 2009.8

Special 「落語家まるこの仏道修行」
プロがアマになりましたん

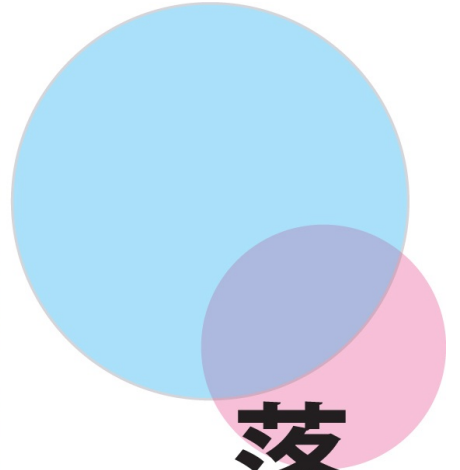


フリースタイルな行者の「精進生活」 / こちら僧医外来
イベントインフォ"仏教体感" ETC

<http://freemonk.net>



**プロからアマに
なりましたん**



落語家まるごこの仏道修行

落語家 露の団姫

取材・文・柴山高宏 撮影・池口龍法

2012年6月23日、落語家の露の団姫は、比叡山での2カ月間の修行生活を終え、下山した。11年に、若手落語家の新人賞にあたる「輝き賞」を受賞。ラジオやテレビ番組への出演も増え、上方落語会のホープとして、今後の活躍を期待されていた彼女は、なぜ出家の道を選んだのか。幼い頃から彼女を魅了してやまない仏教の教えと、比叡山での壮絶な修行の日々を追った。

プロからアマに逆戻り!?

2012年6月23日正午。京都と滋賀の県境に位置する比叡山延暦寺では、「日本一厳しい」と言われる修行を終えたばかりの若いお坊さんたちが、喜びを爆発させていた。苦難をともに乗り越えた仲間と記念写真を撮ったり、恩師と歓談したり。雄大な自然に囲まれた山寺の静寂な雰囲気とはミスマッチな様子は、さながら高校や大学の卒業式のような。

その歓喜の輪の中に、ひとりの女性落語家がいた。露の団姫(以下、団姫)だ。

「この喜び、どう表現したらいいんやろ……感極まりすぎて、心が震えすぎて、『ああ、もうどうしよう』って感じで。大きなことを成し遂げたばかりで興奮して、自分でもどうしやべっていいかわからないんです。護摩とともに燃え尽きたのかな(笑)」

『落語の修業と仏教の修行、どっちがっつらい?』って質問、下山したらきくとされるんだらうなって思っています。落語の修業もつらいんですが、仏教の修行は、死ぬほど。きついんで

す。体力的にしんどくて、次第に精神が追い詰められていくんです」

団姫は11年11月に出家得度し、12年4月に修行に入った。宗派は天台宗、法名は「春香」。

入山する直前に行った記者会見では、「落語家になるために、3年間修業してプロになりました。今度は2カ月かけてアマ(尼)になります」と、落語家らしく謎かけて決意を表明した。

団姫は押すに押されぬ、上方落語界のホープだ。

11年には、大阪の定席「天満天神繁昌亭」が主催する、第6回繁昌亭大賞で、芸歴10年以下の若手を対象とした「輝き賞」を史上最短キャリアで受賞。

関西エリアを中心に、ラジオやテレビ番組への出演も増え、さらなる活躍が期待される中での出家宣言だった。それゆえ、ファンや関係者の間では、応援や歓迎だけでなく、とまどいの声も漏れたのも事実だ。

事実だ。

しかし、団姫は「尼さんになるのは、高校生の頃からの夢やったんで、迷いはありません」と、キッパリ。

「なかには『せうかく仕事か順調なのに、なんで今わざわざ出家すんねん』と言う人もいましたが、私にとって落語と仏教は切っても切れない関係なんです。芸能活動に空白期間を作った上で、出家したくなるほど魅力的な仏教を、ひとりでも多くの人に伝えたい」

ヨガや座禅を通じてカジュアルに仏教と接する、巷間で話題の「仏教女子」とは一線を画す、彼女の生き様と仏教への真摯な想い、そして修行の日々を追った。



密教修行で死にかける

修行は4月25日から6月23日までの約2カ月間、行院という修行道場で行われた。院生は26人で、そのうち尼僧は6人。平均年齢は20〜30代になる。

「天台宗は男女平等。他の宗派だと男僧と尼僧の道場が別れるところもありますが、天台宗では同じところで同じことをします。修行前はいいなあと思ってたんですが、実際にやってみると男女の体力差もあつく、かなり大変でした」

前半の1カ月は、座禅の組み方やお経の唱え方など、天台宗の僧侶としての立ち居振る舞いを学ぶ基礎の期間。朝5時に起床し、22時に就寝する。

「みんな正座がしんどかったみたいで、首をあげていました。途中でしびれて、足を動かしてしまい、先生に怒鳴られまくってました。私は落語家なので、全然平気。正座には慣れていますから」

食事ももちろん精進料理。おかずの量を増やすことはできないため、ご飯の増減で体調管理を行う。ちなみに、仏教では1日2食が基本で、朝は小食、昼は正食、夜は「食に非ず」と書いて非食という。

「ご飯は1日5合食べてました。男僧よりも量が多くて、みんなドンドン痩せていくのに、私だけ修行前の体型のキープに成功。驚いた先生に、『春香、いい加減にしないかい！ そんなんで下山したら比叡山の修行はあまいって思われるやろ』って注意されちゃいました（笑）」

後半の1カ月は「四度加行」と呼ばれる、密教の修行に入る。ここからは、友人や家族との連絡は一切禁止。仮に両親が亡くなったとしても、修行が終





わるまで知ることができない。

修行も苛酷さを増す。午前2時、草木も眠る丑三つ時にはじまり、消灯時間の20時までの間、ずっと修行漬け。団姫は「密教の教えや具体的な修行内容は公言してはいけません」と前置きした上で、例えるなら「トイレに行く時間すら惜しい」くらい忙しい、二日中淹に打たれていた方が楽」なほど壮絶だという。

「落語のネタを考える余裕なんて一切なかったです。密教の修行に入る前日に、先生から『明日死ぬならそれはそれ』と言われましたが、こんなにきついなら死んだ方がマシって思いましたもん。実際の修行中に仲間たちが気絶してバタバタと倒れるんです。私も2、3度フツ倒れましたが、あの時は逝ったかと思えました」

それでも、ひとりの脱落者も出ずに、全員で満行(修行を終えること)を迎えることができた。下山する前夜はお菓子が振る舞われ、和やかな雰囲気を感じを言い合った。深夜は尼さん仲間との女子会。途中から先生も乱入して、イケメン美坊主の話など、年頃の女の子らしいガールズトークに花が咲いた。

「お坊さんになって、仏様にこれまでの感謝の気持ちを伝えたい。その一心で耐え抜きました。修行を重ねるほど、本尊さまとつながる感覚をつかめ、何度も号泣してしまいました。出家する前後で仏教に対する考え方は大きく変わりました。本当に、やってよかった」

落語は究極の一人芝居や！

在家出身の団姫が仏教に傾倒したのは、幼少期から常に感じていた、死への恐怖がきっかけだ。

中学生になり、社会科の授業で習った宗教に興味を持った。そこで団姫は、高校入学後にアルバイトをはじめ、稼いだお金で聖書やコーラン、仏教書を読み漁った。そんな中、代表的な大乘仏教経典の法華経との出会いが、彼女の人生を左右する。

「出会った時は涙が止まりませんでした。法華経は人生を応援してくれる、前向きにしてくれるお経なんです。生活の中で実践できる教えがたくさんあるので、それを心にとめて毎日を過ごす、苦しいことがあっても乗り越えられるし、嬉しいことがあると喜びが倍増するんです。これさえあれば生きていけると思いました」

将来は尼僧になりたいと思うようになった団姫は、落語家というもうひとつの夢があった。古典芸能への興味から、小学生の頃から劇団ひまわりに通って演技やダンスのレッスンをしたり、吉本興業のNSCで漫才を学ぶなど、芸道に励んだ。

「落語家になってから尼さんになることはできるけど、その逆はムリ。だからまずは落語家になろうと、師匠を探すことにしました」

入門先を模索しているうちに、僧侶で上方落語の創始者の、初代露の五郎兵衛の存在を知った。江戸時代、仏教の教えになかなか関心を持ってくれない人々のために、おもしろおかしくオチをつけて説法したことが、落語のはじまりとされている。

さらに、団姫同様、役者経験のある二代目の「落語は究極のひとり芝居や」という言葉にも後押しされ、05年、18歳で露の「一門」に弟子入りした。

夫は隠れキリシタン

3年間の住み込み修行を経て、独立。その後の快進撃は、冒頭で述べたとおりだ。女性落語家がヒロインの、NHKの連続ドラマ「ちりとてちん」のヒットも追い風となった。

11年3月には、太神楽曲芸師の豊来家大治朗と結婚する。付き合うまでクリスチャンであることを伏せていた夫を、「この人、隠れキリシタンなんです（笑）」と一笑に付す。

「宗教でもめたりすることはなく、支え合っている関係です。たとえば、旦那が日曜日の朝に『今日ちよっとしんどいから、教会行くのやめようかな』とダズっていたら、『行かんかい！』と怒るし、逆に私が朝起きるのが遅くて慌ててお勤めをしていると、『もっと早起きして、しっかりせなアカンやん』みたいな。自分にとって大事な信仰は、相手のものも大事にしてあげたいんです」

僧籍を取得し、「これでやっと自分がやりたいことの準備が整った」という団姫。7月5日には復帰後初となる「まるぼうず寄席」を開催。天台宗の開祖・最澄の教えをテーマに、ギャグを盛り込んだ自作の仏教落語「隅を照らす落語」に、会場は笑いの渦に包まれた。

「私は初代露の五郎兵衛みたいに、仏教への入り口になりたい。仏教に関心がない人に私の落語を観てもらって、『そうなんだ。仏教ってちよっとええなあ』って感じてもらいたい。出家したことで、仏教落語への説得力も増すと思うし。そして、つらいことがあった時、仏教のことを思い出してほしいんです」

そういう団姫は、自らの役割を「パートの駐車場整理係みたいなもの」と謙遜する。

「最澄の記した『山家学生式』に、『隅を照らす、これ即ち国宝なり』という言葉があります。各々の持ち場で一生懸命がんばることが、世の平和につながるという意味です。私の持ち場は落語。笑いの力で仏教を知るきっかけ作りをしたいんです」

住職になって大上段に法話を説くよりも、嘶家として、人々に広く親しまれている落語を通じて、仏教の魅力を伝えたい——偉大な先人の意志を受け継ぐ団姫の挑戦は、まだはじまったばかりだ。

露の団姫（つゆの・まるこ）

1986年生まれ。上方落語協会所属の落語家。高座の他に、テレビやラジオでも活動中。

小さい頃からの「死」に対する恐怖をきっかけに仏教に触れ、高校在学中に人生の指針となる法華經に出会う。

落語家になるか尼さんになるか悩む中、落語の創始者、初代・露の五郎兵衛が僧侶であり、説法をおもしろおかしく話したことが落語の起源と知り、高校卒業後、初代・露の五郎兵衛の流れを汲む、露の団四郎へ入門。3年間の内弟子修行を経て、主に古典落語・自作の仏教落語に取り組んでいる。2011年、天台宗で得度。2012年、比叡山行院で四度加行を受け、正式な天台僧となる。年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し、全国を奔走する異色の落語家。

2011年春 天台宗キャンペーンガールに就任

2011年11月 繁昌亭輝き賞(新人賞)を最年少で受賞

今後の出演予定

- 8月25日 15時 尼崎・西正寺寄席
出演・露の団姫 桂吉の丞 笑福亭智六
- 8月27日 18時30分 天満天神繁昌亭「ドリームジャンボコンテスト」
- 8月28日 18時30分 天満天神繁昌亭「お説教落語の会」



最終回

フリースタイルな行者の 「精進生活」



行者の朝は早い。遅くとも朝の3時には目を覚ます。支度をし、本堂の香華を換え、お供えをし、施餓鬼をしてから一座の行法をする。これが毎朝の日課である。

真言行者の実践は、日々の瞑想、三密(※)の行法にある。僧侶の活動の根幹は日々の修行にあると思っているし、仏道を実践していなければ僧侶とはいえないと思う。

わたしの指導などはいしたわけではないのだが、これまで布教活動の一環として、真言宗の伝統的な瞑想を指導してきた。また、それとは別に、9月からヨガスタジオの講師として瞑想と哲学を指導することとなった。

おしゃれなイメージがあるヨガだが、実は本格的なトレーニングの中では、哲学や瞑想も重要な課題の一つである。日本にも昔から仏教の奥深いインド哲学が伝わっていることを若い世代の方々にもよく知っていただきたいし、また、これをよく学んで、瞑想を実践していただきたい。

私はこのトレーニングで指導できることを楽しみにしている。

さて、フリースタイルな行者のコラムだが、これでひとまず終わらせていただく。これまで、わたしの乱文に嫌がりもせず修正を加え、アイデアを与えてくれた、小森さん、松本さん、有り難う。そして、つまらない自得の文につきあってくれた、読者の方々に感謝いたします。

またお会いしましょう。さようなら。

南無 九拝

如実知見

※三密……身(印契)・口(真言)・意(観想)の三つの行為。密教の修行方法。

小野剛賢 昭和51年3月17日生 高野山真言宗 薬師院 副住職
<http://www.eonet.ne.jp/~yakushi/> 高野山真言宗・薬師院HP
<http://ajikan.blog.eonet.jp/default/> ブログ

こちら僧医外来

浄土宗西山禪林寺派光明院住職・田中医院院長
僧医 田中善紹



第1回、僧医って何？

わたしのように僧侶である医師を中世より「僧医」と呼び、わが国では民衆のための医療の中心を担っていました。有名な鑑真和尚もその一人です。現在でも各地に「僧医」はおられます。

昔の僧侶は仏教の教義を学ぶため、五つの学問を勉強していました。五明(ごみょう)と言い、内明(ないみょう、仏教学)、因明(いんみょう、論理学)、声明(しょうみょう、音楽)、工巧明(くぎょうみょう、建築・造仏・絵画や木工学)、医方明(いほうみょう、医学・薬学・看護学)の五つです。僧侶は医学関係の勉強もしていたのです。また、わが国では昔は疫病の流行は日常茶飯事であったため、その平定を祈願しての薬師如来信仰は中世において仏教の主流でありました。

このようにお坊さんが医者をしてもおかしくないし、仏教と医療とは本当は関係が深いのです。特にお寺は地域のセンターとして教育、医療や集会の場などを提供してきました。わたしもまた、檀家や地域の方のお役に立てるようという思いから仏教だけでなく医学も勉強し、結果的に僧医の道を歩むこととなりました。

このエッセイでは、僧医外来で経験したさまざまな問題について、みなさまと一緒に考えてまいりたいと思います。

田中医院(内科・呼吸器科・小児科、京都市中京区)は光明院の境内にあり、日常の診療での健康問題に限らず、仏事一般や世間のしきたりについてなど何でも相談を受けています。初めての方の窓口として「僧医外来」を田中医院で予約制(月、金曜日午後4時30分より30分1回2000円)で行っておりますのでご利用下さい。

僧医外来は電話、またはホームページからメールでご予約下さい。

075-822-3233 (平日午前9時~12時)
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/tanakazk/>

仏教体感

東京

BDKシンポジウム

近年、「直葬」に代表される仏教離れの加速と自殺・貧困が社会問題化する中で、仏教の役割とその可能性が問われています。今メディアが注目する若手僧侶をパネリストに迎えたシンポジウムを通して、この問いと向きあいます。

テーマ：『問われる仏教 応える仏教』

日時：平成24年9月3日(月) 18:00~20:00

場所：〒108-0014 東京都港区芝4丁目3-14

仏教伝道センタービル8F「和」の間

参加費：500円

※参加費は、全額東日本大震災の義捐金として寄附します。

定員：100名(必ず事前申込が必要です)

パネラー：釈 徹宗(相愛大学教授)

阿 純章(圓融寺副住職)

池口龍法(「フリースタイルな僧侶たち」代表)

松山大耕(退蔵院副住職)

17:15	開場
18:00	シンポジウム開始
18:05	パネラーの発表
19:15	休憩
19:20	ディスカッション
19:50	質疑応答
20:00	終了

●お申込みは、当協会ホームページをご覧ください。お電話でもお申込み頂けます。申込期限は、2012年8月31日(金)迄です。尚、参加費は当日お支払い下さい。

財団法人 仏教伝道協会

担当：増田(マスタ)・大來(オオギ)

Tel: 03-3455-5851 Fax: 03-3798-2758

E-mail: bdk@bdk.or.jp URL: http://www.bdk.or.jp

9.3

東京

駒沢坐禅教室

～出会った相手は自分でした～

駒沢坐禅教室は、Shojin Project の若手僧侶が月に3度、駒沢大学の坐禅堂をお借りして開催する坐禅教室です。どなたでも、無料でご参加いただけますので、どうぞお気軽にお越しください。

また、その他にも写経会や写仏会、一日旅行会、お寺での坐禅会なども予定しております。

●開催日時

9月6日(木)、8日(土)、29日(土)

10月4日(木)、18日(木)、27日(土)

木曜 18:30~19:45

土曜 10:00~11:15(終了後茶話会)

※初めての方は40分前にお越しください。坐禅の作法を丁寧に教えます。

※青字の日は写経会も行います。

※日程を変更する場合がありますので、必ず上記WEBで確認の上ご来場ください。

●参加費 無料(写経会は1回100円)

●会場

駒澤大学キャンパス内禅研究館4階 坐禅堂

(「駒沢大学駅」駒沢公園口より徒歩15分)

ホームページ <http://www.shojin-project.com/>

9.6他

8.18

お寺で夜市と肝だめし



子供にはじめてのトキメキを!

大人になつかしいトキメキを!

暑さで疲れた身体に癒しをひとつ。昔ながらの夏の過ごし方。Live area(本堂)では「アーティストライブ」と「怪談話」が行われ、Market area(境内)では「夜市」と銘打った露店が立ち並びます。そして、Ghost area(裏山)では弘法寺裏山全体を使って肝だめし。あなどっていると本物が出ちゃうかも!夏の思い出にぜひお越しを!

日時:8月18日(土)

会場:石尾山弘法寺(泉北高速鉄道 和泉中央駅から徒歩10分)

主催:ミュージックドック(musicdoc.jp)

協力:NPO法人 ジャパスタ創造発信基地(www.japasta.org)

石尾山弘法寺(www11.ocn.ne.jp/~koboishi)

Live area

ライブ 16:00~

【出演アーティスト】和多田雄介 / Kaz&Nao

圧縮技術 / Sunshine Superman

怪談話 18:00~

Market area

夜市 16:00~

Ghost area

肝だめし 18:30~

※1人100円 先着50組 16:00から整理券を配布します

【お問い合わせ】

musicdoc

web:musicdoc.jp mail:info@musicdoc.jp

大阪

8.8他

経典をナナメから読む会 ～仏教は失恋に効くのか!?～

「失恋したときにお釈迦様ならどんな言葉をかけてくれたらだろう」というスタッフ辻村優英(当時失恋中)の素朴な問いかけから始まったのが、「経典をナナメから読む会」。

この勉強会では、人間の永遠のテーマである「失恋」をはじめ、参加者それぞれの日々の悩みに向き合いつつ、経典の言葉をひもといていきます。もちろん、経典の成立史や正しい解釈にもできるかぎり迫ります。

辻村と池口がゆるーく経典について語っていきますので、参加者のみなさまからも臆することなく感じるままにツッコミを期待します。きっと、新しい気づきがあるはずですよ。

※各回のテキストはこちらでも準備いたしますが、予習されたい方はお買い求めください。

第8回 平成24年8月8日(火)・11日(土) 19時～21時

テキスト:『維摩経』(中公文庫)

維摩居士は俗人でありながら、そのユーモラスな弁舌や振る舞いは、出家者もかなわないほどに「空」の思想を正しく伝えていきます。ただ黙することで、言葉を越えた「空」の世界を語る維摩居士の姿から、「空」の思想を学びます。

第9回 平成24年9月11日(火)・15日(土) 19時～21時

テキスト:『金剛般若経・善勇猛般若経』(中公文庫)

これら両経典に説かれる「空」の思想においては、自我の観念のみならずブッダの悟りや説法までも、存在しないものとして否定されます。しかし、「空」はニヒリズムでは決してなく、むしろ、人々の執着を断ち、ものごとの本質へと導いていく手段とされています。



「経典をナナメから読む会」開催後に、ダイジェスト版を収録し、Webにて公開中! お聴き逃しなく!

会場:フリースタイルな僧侶たち
オフィス

★京都市下京区河原町通五条下
ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室
(京阪本線「清水五条」徒歩5分)

会費:1,500円(一般)
1,300円(フリスタ会員)
※うち1,000円は震災復興支援の
ため寄付いたします。)

定員:10名
※フリースタイルな僧侶たちホー
ムページよりお申し込みください。

体験レポート

仏教を語らず、仏教を語る、「つきいちボンサンと語ろう会」



「修行道場を出て、一般社会に戻ってからが本当の修行です」。こう話す杉若恵亮和尚の「つきいちボンサンと語ろう会」が開かれる場所はお寺ではない。「平心低頭」と書かれた真っ赤なのれんがかかる「堀北庵」と名付けられた町家だった。その名のとおり、京都・堀川北大路の交差点から徒歩3分のところにある。部屋いっぱいいろいろな人が集まる「語ろう会」。それは修行を終えた恭しいお坊さんが有り難い仏教を悩める人々に教え諭す会…だったら私はもう二度と行くことはなかっただろう。

今回のテーマは「アキラメナイ、アキラメル、アキラメタ」。他に「ヒステリーのストーリー」がテーマの回もあった。そこで語られるのはいわゆる「仏教」ではない、ありふれた世間話が、いつのまにか「今のってもしかして仏教?」という気づきに変わる。帰り際、一緒に参加した友人は「めっちゃおもしろいじゃん」といい、意表を突かれた様子だった。もちろん有り難いのもいいけれど、やっぱりおもしろいのがいいではないか。四半世紀もの長きにわたってこの会が続く理由はそこにあるのだろう。(辻村優英)

THE BONZEくらぶ:<http://bonzeclub.net/index.html>
京都府京都市北区紫野下柳町47-1
Tel & Fax:075-432-8716

編集後記

縁とはつくづく不思議なものだ、と思う。

本誌を創刊して間もない2009年の秋ぐらいのこと。京都市内の精進料理レストランで、カウンター越しに初々しいフリーマガジンをマスターにわたし、仏教トークに興じていた。そのとき、隣に座っていた可愛い女性が、私たちの会話をうらやましそうに見つめ、話題に加わってきた。「落語家の露の団姫です」——そう語る彼女の手元にはジャータカ(お釈迦様の前世のもの)がたかりがあった。

そんなめぐりあわせから露の団姫と出会い、「フリースタイルな僧侶たち」のメンバーとして一緒に活動するようになったのだが、彼女の生き方を見ていると、芯のおった潔さをいつも感じる。落語家としてのキャリアを華やかにスタートさせたかと思えば、今度はあっさり出家得度して周囲を驚かせた。

彼女が言うに、仏教は「努力の教え」であると。時代や他人のせいにする前に、まずは自分を顧み、心を整えていく。自分が変われば、周囲もおのずから変わってくる。

仏教はきっと、努力し続ける人にやさしく、放逸に生きようとする人に厳しい。

露の団姫は、努力のはるかかあなたに夢を描きながら、これからもひたむきに生きるのだろう。まるちゃん、修行成満、本当におめでとう。(池口龍法)



BOOK REVIEW



『セクシイ仏教』、この本は2つの意味で斬新である。まずタイトルが気になってしかたがない。一つ目の斬新さは、まるで相反するものであるかのようなイメージの「セクシイ」と「仏教」を結びつけた点にある。二つ目は、「性」に焦点を当てることによって、仏典や古典につきまとう古臭いイメージを払拭するのに成功している点にある。

近年、平易な仏教読み物が多数出版されているが、そうしたものの中には現代的な解釈をし過ぎていっているせいか、その典拠の気になるものが少なくない。しかし、『セクシイ仏教』は典拠が明確であり、そのことによって何百年前の人々と性についての悩みを共有することができる。大昔の人々の恋愛や性についての想像も絶するような体験談(そこまでやるのか!と思わせられるものが少なくない)を現代に蘇らせることに成功しているのは、仏教文学の専門家である著者の手腕によるところである。

「空」などの高尚な哲学もよいが、今を生きる我々と切り離せない「性」という問題に仏教がどのような態度をとってきたのか、これを理解することから得るものはとても大きい。

『セクシイ仏教』

愛川純子(著)・田中圭一(イラスト)、
メディアファクトリー新書、2012年
740円(税別)



読者のみなさまからのお便りを紹介!

フリスタではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はメールで届いたお便りからのご紹介です。

三浦明利さんの「被災地からのありがとう」の記事を読んだ時、日常自分が使っている「ありがとう」と意味が同じでも、その重みの違いを痛切に感じ、胸の深い部分に、ズシン!と何かが落ちた気がいたしました。

「フリスタ」を読む度に、「当たり前のように解かってない、日常の中の大切な何か」を考える機会をいただきます。経典や聖書のように神様からの言葉と少し異なり、(私達凡人より)仏さまに近い方々の実体験からの言葉なので、とても共感できます。

(M・Mさん・40代女性・群馬県)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、また Web サイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先: フリースタイルな僧侶たち 編集部
☎600-8119 京都市下京区河原町通
五条下ル本塩竈町 583-5
kawaramachi place 1002 号室
FAX : 075-777-9579
Email : info@freemonk.net
Web : http://freemonk.net

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、
応援していただける方を大募集中!!

対象者 フリスタを応援して下さる方
協賛年会費 5千円(個人)/3万円(法人)
※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また、フリスタ主催イベントにおいて、優待いたします。
※法人会員の方は、誌面にお名前を掲載させていただきます。
会費振込先: 三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法
※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」
に広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中(ホームページで確認できます)!
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様: A4 サイズ・12頁・カラー
発行部数: 10,000部 (2012年8月現在)

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様には厚く御礼を申し上げます。以下に法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
- 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)
- 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
- 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
- 円融寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 窪之坊 (山梨県南巨摩郡)
- 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
- 光照院 (京都府京都市東山区・浄土宗)
- 光徳寺 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)
- 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)
- 光明寺 (奈良県吉野郡・浄土真宗本願寺派)
- 光明寺 (滋賀県草津市・真宗興正派)
- 金剛寺 (京都府京都市東山区・浄土宗)
- 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
- 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
- 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
- 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)
- 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
- 正法寺 (京都府京都市東山区・時宗)
- 勝榮寺 (東京都町田市・浄土宗)
- 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
- 心光院 (東京都港区・浄土宗)
- 瑞聖寺 (東京都港区)
- 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
- 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
- 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
- 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)
- 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
- 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
- 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)
- 法満寺 (千葉県銚子市・浄土真宗本願寺派)
- 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
- 法然院 (京都府京都市左京区)
- 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
- 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)
- 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
- 遠藤新兵衛商店 (京都府京都市下京区)
- 株式会社京美仏像 (京都府京都市北区)
- 株式会社 薫寿堂 (兵庫県神戸市)
- 寺院コム (京都府京都市左京区)
- 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)

※ 五十音順に表示しています。

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジンは

日本では、「お坊さん＝お葬式」というイメージが定着しています。しかし、仏教にいま求められているのは、お葬式だけのお寺とのつきあいではなく、先行きが見えず生きにくい社会を、心安らかに生きられる社会に変えて欲しいということではないでしょうか。

私たちは、その期待に応えるために、既存概念に固執することなく、日本仏教のあり方をフリースタイルに見つめ直していきます。

仏教を心のよりどころにして、いまを生きるということと一緒に考えてみませんか？

私たちは、本誌フリーマガジンを発行(年間6回・偶数月1日発行)して街中のカフェやバーなどで配布するほか、仏教を実際に体感できるイベントや法会も随時開催しています。詳細はホームページよりご確認ください。

また、一緒にこれからの仏教のあり方を考える僧侶の方々や、デザイナーやコピーライターなど誌面作りに一緒に参加いただけるボランティアスタッフも随時募集しています。

お問い合わせ先
tel: 075-555-5730 fax: 075-777-9579
info@freemonk.net

念ずれば花ひらく! はっぴーだるま

昔から「縁起もの」として名高い、高崎のだるまですが、最大の特徴と魅力は、だるまの「眼」を書き入れて「真心」を入れることです。プレゼントした人と貰い受けた人の、願いと真心が宿ります。貰ってありがたく、また、心癒される愛嬌たっぷりのデザインで、ギフトやウェディング等の様々な市場での活躍が期待されます。



Mサイズ……定価3,800円(税抜)
和紙ペーパーで、一枚一枚、手作業で加工。
サイズ : W12×H14cm前後
カラー : レッド・ピンク(顔) 全2色
パッケージ: PPアクリルボックス(説明書付)

はっぴーだるまの特徴

- * 金色の「鶴」の眉と、「亀」の髭 ⇒ 長寿、黄金の人生
- * にらみ顔 ⇒ 厄難を寄せ付けぬ八方を睨んだ表情
- * 丸い姿 ⇒ 家内円満と裕福を表す

「七転び八起き」の精神、そして「念ずれば花ひらく」の信念
新築や移転等で、平穏かつ順風満帆な門出を願う人、
また、病氣と闘う人の傍らや、日夜勉強に励む受験生の卓上で…
不屈の精神で頑張る人や企業のために…

「はっぴーだるま」が、みんなを、あなたを、応援します!!

お取り扱いいただけるお寺を募集中!



株式会社 ミーツ
〒370-0875
群馬県高崎市藤塚町 430-1
TEL : 027-386-3344
FAX : 027-386-3345
Email : info@splendore.jp
HP : <http://happydaruma.com>

自己の目標や、メッセージが書けます。



Mama'a
**浜屋は
 関西最大級のお仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。**

浜屋は個人情報保護する企業を示す
 プライバシーマーク取得企業
 です。

やすらぎの世界を創る



お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
 イロロクヨー
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ■奈良王寺店/大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代 | ■西宮店/171線・下大市 ☎(0798)51-2211代 |
| ■奈良生駒店/近鉄・生駒駅北 ☎(0743)83-2211代 | ■芦屋店/JR・山崎西 ☎(0797)35-1194代 |
| ■岸和田店/2国・西之内 ☎(072)445-2211代 | ■三田店/三田・対中町 ☎(079)559-2211代 |
| ■堺鳳店/第2・阪和沿 ☎(072)261-2211代 | ■神戸店/元町・4丁目 ☎(078)371-2211代 |
| ■藤井寺店/近鉄・藤井寺 ☎(072)954-2211代 | ■新長田店/JR・新長田 ☎(078)621-2211代 |
| ■駒川店/中野・交差点 ☎(06)6709-2211代 | ■明石店/森友・交差点 ☎(078)927-2211代 |
| ■中環大阪店/近鉄・西岩田 ☎(06)6783-2211代 | ■加古川店/JR・駅南側 ☎(079)426-2211代 |
| ■環屋川本店/石津・交差点 ☎(072)829-2211代 | ■高砂店/明姫幹線・中島 ☎(079)443-2211代 |
| ■双方家具店/長尾・家具町 ☎(072)836-2211代 | ■姫路本店/駅前・御幸通 ☎(079)282-2211代 |
| ■高槻店/高槻・紺屋町 ☎(072)683-2211代 | ■高橋店/福崎町・役場北 ☎(0790)22-2211代 |
| ■茨木店/茨木・大手町 ☎(072)622-2211代 | ■網干店/網干・浜国沿 ☎(079)272-2211代 |
| ■豊中店/豊中・郵便局横 ☎(06)6848-2211代 | ■龍野店/龍野・大橋東 ☎(0791)62-2235代 |
| ■川西店/川西・火打2 ☎(072)759-2201代 | ■赤穂店/赤穂・塩屋東 ☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店/阪急・駅前西 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店/山崎・山崎町 ☎(0790)62-5171代 |
| ■尼崎店/阪神・駅南側 ☎(06)6413-2211代 | ■浜屋漆工芸館姫路・土山町 ☎(079)293-2211代 |

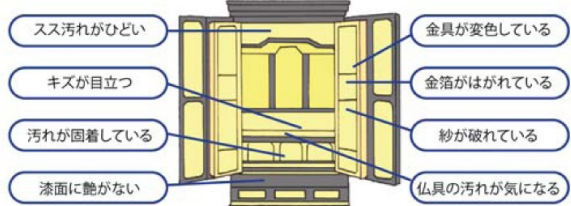
■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

京都北白川 **一步堂** IppoDou



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。
 お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<屏修復>



<外屏磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄(株)メイクリンお仏壇本舗加盟店

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… [京都 仏壇 一步堂] で検索!



財団法人 浄土宗報恩明照会

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 財団法人浄土宗報恩明照会内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://homei.jodo.or.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索



フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成24年 8月1日発行 第18号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002 号室

tel : 075-555-5730

fax : 075-777-9579

e-mail : info@freemonk.net

<http://freemonk.net>

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

題字

しらたきなべお

DTP&デザイン

bdt 山本成美

輪番編集長

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン編集部

総指揮

池口龍法